

2025 年 3 月 吉日

成蹊学園と READYFOR、遺贈寄付分野の包括提携を開始

－「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」との提携で遺贈寄付の受入体制強化と広報連携を実施－

成蹊学園（所在地：東京都武蔵野市、学園長：江川雅子）は、READYFOR 株式会社（所在地：東京都千代田区、代表：米良はるか、以下：READYFOR）が運営する「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」と遺贈寄付分野の包括提携を開始いたしました。

READYFOR と 成蹊学園が 遺贈寄付分野の包括提携を開始



本提携により、成蹊学園に対して、「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」が不動産遺贈や包括遺贈の受入サポートを行うとともに、卒業生をはじめとする関係者への遺贈寄付に関する情報発信を強化し連携することで、より多くの方が成蹊学園へ遺贈寄付を行えるようになります。

・「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」ページ：<https://izo.readyfor.jp/>

これまで成蹊学園では、成蹊教育の継承・発展と時代のニーズに合った教育の実現を目指し、成蹊学園で学ぶ児童、生徒、学生により良い学びの機会と環境を提供するため、多くの皆様からのご支援ご協力を仰いでまいりました。その一環として、近年関心が高まっている遺贈に関しても、ホームページの内容を充実させるとともに信託銀行との提携などを通して、遺言による寄付をお考えの方への便宜を図ってまいりました。

READYFOR では、2021 年 4 月より「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」を開始し、これまで高齢者や相続人から生前寄付・遺贈寄付のご相談を 1300 件以上受付け、サポートを実施してまいりました。

■包括提携の概要

(1)提携の内容

- ・成蹊学園では受入が難しい不動産の遺贈や包括遺贈の受入をサポートし、現金以外の資産を換金することで、学園が受け取りやすい形で寄付を実行
- ・成蹊学園の卒業生をはじめとする関係者への遺贈寄付に関する情報発信や相談対応をサポート

(2)提携によるメリット

本提携により下記のようなメリットが見込まれます。

- ・成蹊学園としては、遺贈寄付に関する専門知識を持った専任の職員を増やすことなく、新たな資金の調達手段が広がる
- ・遺贈寄付を検討される方々に対して、遺贈寄付に関する相談料が発生しない形で、成蹊学園への寄付という選択肢が提案可能になる

■「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」とは

「遺贈寄付」とは、公益法人、病院、学校などの団体に自分の遺産や自分が相続した財産の一部または全部を寄付することを指します。近年、終活への意識の高まりや、おひとり様世帯の増加などを背景に、遺贈寄付に対する意識・関心が高まっています。2020年7月には自筆証書遺言書保管制度(※)が開始するなど、関連制度の整備も進んでいます。

READYFOR では、2021年4月より「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」を立ち上げ、NPO・大学・医療機関などの活動団体の遺贈寄付受入に関する包括支援の実施、および遺贈寄付・生前寄付を検討されている個人向け相談窓口を開設し、サポートを行っています。

・「レディーフォー遺贈寄付サポートサービス」ページ: <https://izo.readyfor.jp/>

(※法務局で自筆証書遺言(自分で書いた遺言書)を保管する制度を指します。これにより、遺言書の紛失や隠匿等を防止し、遺言書の存在の把握が容易になり、遺言者の最終意思の実現や相続手続きの円滑化が見込まれます。)

■報道機関からのお問い合わせについて

READYFOR 株式会社 ブランド PR 部 press@readyfor.jp

学校法人成蹊学園 企画室広報グループ koho@jim.seikei.ac.jp